【令和８年度　理科授業改善推進プラン】

理科で身に付けさせたい力・目指す生徒像

・課題の把握（発見）、課題の探究（追究）、課題の解決という探究の過程を通じた学習活動を行い、生徒が主体的に自然事象と関わり、それらを科学的に探究することができる。
・授業で学んだ基礎的な知識を用いて、自然の事象について、論理的に仮説を立てたり、結論をまとめたりすることができる。
・授業で学んだ実験・観察の技能を活用して、結果を分析したり、解釈して表現したりすることができる。
・自然の事象に関心をもち、学習したことと結び付けて捉えようとする。

学習状況及び課題

	１学年	２学年	３学年
学習状況	・興味・関心をもって授業に取り組み、実験・観察に意欲的に取り組む生徒が多い。 ・実験・観察結果から多くのことに気付くことのできる生徒が多い反面、その理由や自分の考えを説明したりする力は十分ではない。 ・提出物を期限内に仕上げようとする姿勢が多く見られる。しかし、提出できない生徒や内容が不十分な生徒もいる。	・多くの生徒は、基礎的な内容を理解している。 ・分からない課題については周囲と協力し、解決していくことができるが、他者に自分の意見を適切に表現することできない生徒が一定数いる。 ・提出物を期限内に提出しようという前向きな姿勢が多く見られる一方で、それが難しい生徒も一定数いる。	・観察・実験への興味関心が高く、課題に集中して取り組み、まとめられる生徒が多い。 ・課題について、周囲と話し合いながら解決策を考えることができる。 ・復習が不足しており、授業では理解していても小テストや考査につながっていない生徒が一定数いる。
指導上の課題	・基礎的な知識や技能の定着が不十分だと思われる生徒に対してのこまやかな対応が不足している。 ・科学的な見方や考え方、表現の仕方を、生徒に浸透させる必要がある。	・基礎知識は身に付いているものの、活用して思考・表現することに課題がある。 ・授業内で学習者用端末を利用する機会があまり多くないことが課題である。	・学習内容を、時間を空けて復習する機会が不足している。 ・知識をアウトプットする機会が不足している。 ・結果を分析したり、解釈して表現したりすることに課題がある。

改善プラン

	１学年	２学年	３学年
学習面	・問題集の取り組み方やテスト前の学習方法など一人一人に合わせた指導を行う。 ・学習内容の振り返りとして、学習内容をまとめる時間を確保する。	・問題集の取り組み方やテスト前の学習方法など一人一人に合わせた指導を行う。 ・観察・実験の予習時間も含め、学習者用端末を使用する場面を設定する。 ・授業ごとに内容の確認を行う。	・観察実験については、目的に合った適切な考察を行う。 ・毎授業の振り返りとして、学習カードに振り返りを記入する。 ・毎週、小テストを実施する。
指導面	・１時間のねらいを明確にし、振り返りの時間を確保した展開をする。 ・科学的な見方や考え方ができている記述を適宜例示し、論理的な記述ができるようにする。 ・観察・実験の時間も含め、学習者用端末を使用する場面を設定する。 ・対話的な活動を増やし、説明する力を養う。	・単元や授業のねらいを明確にし、振り返りの時間を確保した展開をする。 ・実験・観察の考察を十分に行い、自分の考えがもてるようにする。苦手な生徒には、考え方の道筋を示すようにする。	・単元や授業のねらいを明確にし、振り返りの時間を確保した展開をする。 ・問題集の取り組み方やテスト前の学習方法など一人一人に合わせた指導を行う。 ・論理的に順序立てて説明する力をつけるように指導を行う。 ・自ら課題を設定し、探究する場面を設定する。

評価

① 定期考査 観点別学習状況による評価
② 小テスト、ワークシート、実験・観察レポートによる評価
③ 授業アンケート結果による達成度評価